



令和2年度 京都市予算(障害保健福祉関係)の概要

令和2年度京都市予算は、文化を基軸に、持続可能な都市を目指す「SDGs」の理念と、あらゆる危機にしなやかに対応し、より魅力的な都市を目指す「レジリエンス」の理念を融合し、「くらしに安心、まちに活力、みらいに責任」のまちづくりを推進します。

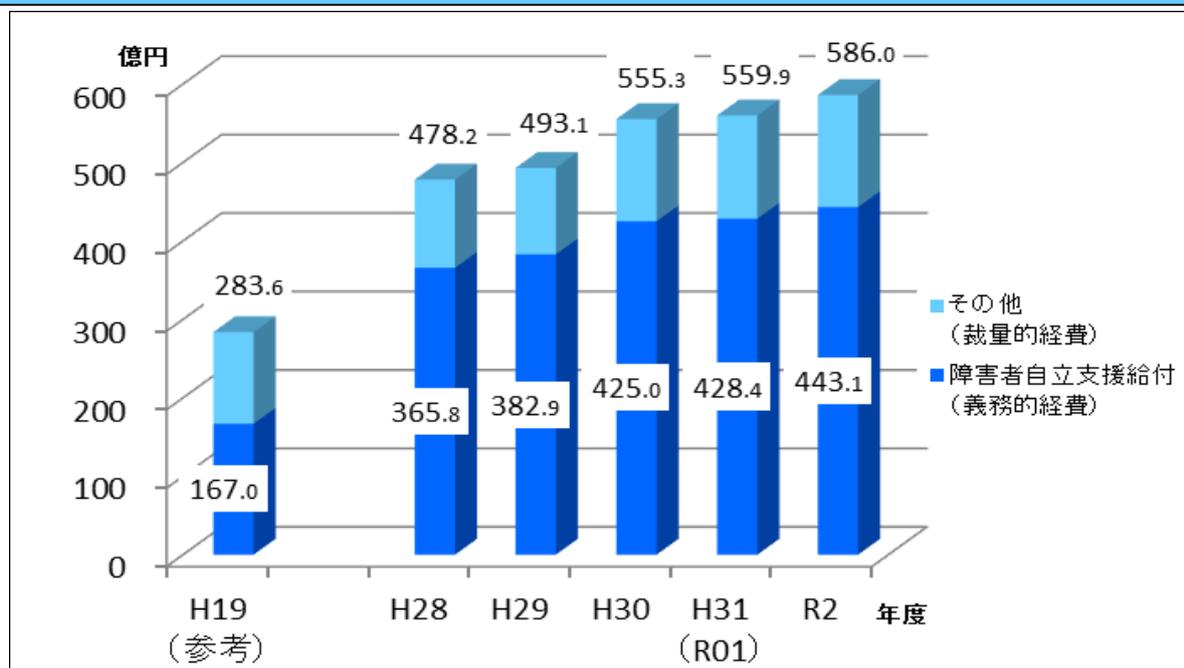
厳しい財政状況の中、財源確保の工夫、事業の見直し等による歳出改革を徹底し、持続可能な財政の確立を目指し、同時に、市民生活の安心安全を守り、全国トップレベルの福祉、医療、子育て支援、教育を更に充実させるとともに、京都の強みを活かした経済政策を積極的に実行し、京都市基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」の総仕上げとして、また、市長と市民の141のお約束・公約の8割を計上した予算編成としています。

保健福祉局においても、市民の皆様の「いのち」と「くらし」を守るとともに、「地域共生社会」の実現に向けた取組を推進するため、全事務事業を点検し、必要な見直しを行ったうえで予算編成を行い、一般会計の27.3%を占める予算を確保しました。

項目	令和元年度	令和2年度	増減	伸び率
一般会計	7,944億円	7,840億円	△104億円	△1.3%
保健福祉局 *人件費を除く	2,131億円 (26.8%)	2,143億円 (27.3%)	12億円	0.6%
障害者福祉予算 ()内は、障害者自立支援給付(義務的経費)	559.9億円 (428億円)	586.0億円 (443億円)	26.1億円 (15億円)	4.7% (3.5%)

障害者福祉予算においては、裁量的な事務事業の見直しや国費・府費等の積極的な取り込みを進めつつ、年々増加傾向にある障害者自立支援給付（法定給付）などの予算の確保を最優先に、「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン」（平成30年3月策定）の推進を図るため、前年度を上回る586億円（4.7%増）の予算を確保しています。

障害者福祉予算は年々増額。令和2年度は、平成19年度の2倍超になっています。



令和2年度に実施予定の新規・充実事業等の重要事務事業を紹介します。

① 発達障害児者地域支援サポート事業(1,600万円)【新規】

発達障害のある方の支援に関して多様化するニーズに対応するため、発達障害者支援センターに「地域支援マネジャー」を新たに配置し、障害者支援施設及び障害福祉サービス事業所からの行動障害等に関する相談に対し、訪問等による助言やサポートを行うコンサルテーションを実施します。

あわせて、ライフステージを通じた切れ目のない一貫した総合的な支援を行うため、関係機関の連携・情報共有ツールとして京都市版「個別支援ファイル」の運用を開始します。

② 障害福祉分野におけるロボット等の導入支援事業(600万円)【新規】

障害のある方の入所施設等に対するロボット等(※)の導入費用を助成することで、介護業務の負担軽減、職場環境の改善を進め、安全・安心なサービスの提供等を推進します。

※ 移乗支援や見守りなど、介護や日常生活支援の場面において利用するロボット

③ 東京2020パラリンピック記念事業(300万円)【新規】

東京2020パラリンピックに向けた機運の醸成を図るため、当事者団体や障害者福祉施設、総合支援学校等をはじめ、障害の有無にかかわらず広く市民の皆様に聖火フェスティバルに参加していただくとともに、参加者の思いが託された「京都市の火」を採火する採火式を実施します。

④ 京都らしい農福連携推進事業(250万円)【新規】

農業の新たな担い手確保と障害のある方の就労機会の創出・工賃の向上に向け、産業観光局と連携し、本市の独自ブランドである新京野菜等を活用し、障害者福祉施設が生産・加工・販売等に携われるよう、農家等とのマッチング等に取り組み、販路開拓や地域の活性化を図る農福連携を推進します。

⑤ 生活介護事業所等整備助成事業(1億4,910万円)【新規】

社会福祉法人等が実施主体となっていく障害福祉サービス事業所(生活介護、共同生活援助(グループホーム))に対し、整備助成を行い、定員増を図ります。

施設名：「デイセンターあらしやま(仮称)」

所在地：西京区嵐山上海道町

実施主体：社会福祉法人なづな学園

サービス種別(定員)：生活介護(20名)

施設名：「グループホームりずむ(仮称)」

所在地：北区小山西玄以町

実施主体：特定非営利活動法人りずむ

サービス種別(定員)：共同生活援助(7名)、短期入所(3名)

施設名：「ホームあらしやま(仮称)」

所在地：西京区嵐山上海道町

実施主体：社会福祉法人なづな学園

サービス種別(定員)：共同生活援助(20名)短期入所(2名)

⑥ 伝福連携推進等事業所整備助成事業(2億1,800万円)【新規】

障害のある方の就労の場の拡大と工賃向上、伝統産業の技術継承と後継者確保を目指し、伝統産業製品の製作工程において、障害者就労に取り組む障害福祉サービス事業所の整備に対し、整備助成を行います。

名称：新西陣工房（仮称）

移転先：北区大將軍東鷹司町

サービス種別（定員）：就労継続支援B型（20名→40名）、生活介護（10名）

⑦ 生活介護事業所等防犯カメラ設置助成事業(60万円)【新規】

防犯カメラの整備を行う障害福祉サービス事業所（生活介護等）に対して、補助を行い、安心安全に施設を利用できるよう防犯機能の充実を図ります。

⑧ 3施設一体化整備事業(5億6,815万円)【継続】

地域リハビリテーション推進センター、こころの健康増進センター及び児童福祉センターについて、各施設の一層の機能充実、各施設の連携強化による相乗効果の発揮、専門的中核機関として全市的な相談支援体制を充実させることなどを目的として、3施設一体化整備を行います。

令和2年度は、施設の実施設計及び既存施設の解体工事等を行います。

⑨ 障害児・者福祉サービス利用支援策「新京都方式」(3億4,780万円※)【継続】

(※ 子ども若者はぐくみ局事業（障害児関係）分1億1,944万円を含めた額になります。)

国においては、平成22年4月から、低所得者（市民税非課税）の障害福祉サービス及び補装具に係る利用者負担を無料とする措置が講じられているところですが、「新京都方式」として実施してきた本市独自軽減策が国制度を上回る部分については継続し、障害のある方のサービス利用を支援していきます。

【参考】 関係する事業の一部を紹介します。

① ひきこもりの相談窓口一元化等による支援の充実(9,730万円[充実分9,730万円])【充実】

これまでの本市のひきこもり支援の仕組みを抜本的に見直し、様々な困難を抱える方や家庭を地域と一緒にあって見守り、支えていきます。当事者とその家族に寄り添った息の長い総合的な支援を展開していくため、まず、年齢や施策ごとに分かれている相談窓口を一つにまとめる「ひきこもり相談窓口の明確化」と、ひきこもりをはじめとする様々な困難を抱える世帯の課題解決に向けて伴走型支援を行う「よりそい支援員（仮称）の設置」に取り組みます。

② 医療的ケア児の受入支援の充実(1億290万円[充実分6,450万円])【充実】

医療的ケアを必要とする児童について、保育所等での受入人数を拡充するとともに、新たに私立幼稚園、学童クラブにおいて受け入れるに当たって、施設に看護師を配置する費用を助成します。

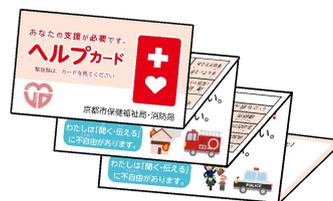
令和元年度の主な新規・充実事業の実施状況

令和元年度に実施した主な事業について、現時点の実施状況を報告します。

京都市版ヘルプカードの普及事業

障害のある方等が、障害特性や医療情報、緊急時・災害時の対処方法、緊急連絡先等をカードに記載し、身に着けることで、困った時に周囲の人や救急隊などから、必要な支援を受けやすくなる「京都市版ヘルプカード」を作成しました。

区役所等で希望者に配布するとともに、「ヘルプマーク」と一体的に普及を図り、全市的に配慮の実践を促し、障害のある方等の安心・安全の向上に取り組んでいきます。



ヘルプカード



ヘルプマーク

「障害者芸術」の活性化を契機とした新たな文化芸術の魅力発信事業



ICOM（国際博物館会議）京都大会
ブース出展の様子

障害のある方の芸術文化活動の拡大につなげるため、創作活動の機会の創出や発表の場の提供に取り組むとともに、新たに障害のある方の芸術作品の海外市場開拓等にも取り組みました。

- 障害者アート作品をデジタルアーカイブ化し、ホームページで公開
- ICOM（国際博物館会議）京都大会において、障害者芸術に係るブースを出展

障害者共同生活援助事業所整備助成

障害福祉サービス事業所（共同生活援助（グループホーム））に対し、整備助成を行いました。
「テンダーホームあきつき」（所在地：京都市左京区秋築町）〔共同生活援助7名、短期入所2名〕

障害児相談支援の利用促進

障害福祉サービスのより適正な利用を確保するため、相談支援の趣旨や利用方法等を含めた制度周知のパンフレットを作成し、市民や関係機関等に提供することで、障害児相談支援の更なる利用促進、普及啓発を行います（令和2年3月末から配布予定）。

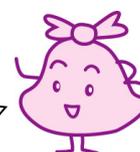
放課後等デイサービス事業所への巡回指導

放課後等デイサービス事業所について、事業所における支援の質の向上を図るため、児童福祉、障害福祉及び相談支援における知識と経験を有する専門員が事業所を訪問し、従業員が日々感じている課題や不安に対し、助言及び技術指導を行いました。

京都市障害保健福祉行政情報「支えあうまち」第11号 令和2年3月発行

発行 京都市 保健福祉局 障害保健福祉推進室
京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町 394 番地Y・J・Kビル 3 階
TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940

この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！



京都市印刷物番号 第313257号